

第66回経営協議会議事要旨

日時：平成27年6月17日（水）13時00分～15時30分

場所：山口大学事務局1号館4階 特別大会議室

出席者：岡，古賀，田中，吉岡，瀨瀬，三池，山内，内藤

今村，岩田，鎌田，下村，田邊，田村，南場，益田，山本 17名

欠席者：田口，三浦，中原，福田，御手洗 5名

ががパー：坂本

議 題

議事に先立ち、学長から、5月30日に開催された創基200周年記念式典への出席に対する謝辞が述べられた。

I 議事要旨の確認

学長から、第65回経営協議会議事要旨について、資料Iに基づき確認があり、原案のとおり承認された。

II 審議事項

1 第3期中期目標・中期計画（素案）について

学長及び古賀理事から、6月末までに文部科学省へ提出する第3期中期目標・中期計画（素案）について、審議資料1及び参考資料に基づき説明があり、審議の結果、原案について意見交換の内容を踏まえて修正の上、文部科学省に提出することが承認された。

なお、文言等の修正については学長に一任することが併せて了承された。

（委員からの主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員，◇は学内委員）

○中期計画No.3 4に記載されているダブルディグリープログラムに関して、国際連携学科等に係る設置基準では、ジョイントディグリーについて言及されているのでご確認いただきたい。

◇ジョイントディグリーについては大学院で検討している部局があり、今後しっかり考えていきたい。

○「グローバル化に関する目標」について、国際総合科学部等の特定の学部だけでなく、既存の学部についても強く推進していく計画としてはどうか。

◇国際総合科学部については、本学のグローバル化のエンジンと位置付けており、初年度の入学生は大変積極的で優秀な学生が入学している。国際総合科学部におけるグローバル化の実績を他の学部に展開できるような取組を進めたいと考えている。

○国際総合科学部における文理融合の取組は非常に期待が持てる。ただ、入試に関しては本学への入学者の割合が多い九州地区でのPRが不足しているのではないかと。もっと浸透させていただきたい。

◇広報についても強化していくこととしたい。

○中期計画No.3 0の「山口学」がどのような学問か、山口県外出身者にはイメージしづらいのではないかと。

◇総合大学のメリットを活かし、幅広く文理融合で地域について検証・研究し、地域創生に資するものを構築したいと考えている。

○中期計画No.18の入試関係の計画については、大学側の取組だけではなく、地域の小・中・高等学校等との対話を通じて検討する必要があるように思われる。

◇入試改革については今後しっかり議論していきたい。

○新学部のデザイン思考の考え方の科目を他の学部でも取り入れるなど、山口大学としての特徴をどのように打ち出していくかについて考えていただきたい。

◇本学は共通教育を中心としたアクティブ・ラーニングを組織的に推進しており、この取組が平成26年度「大学教育再生加速プログラム」に採択されている。このアクティブ・ラーニングの推進が本学の大きな特徴となっている。

2 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COCプラス）について

学長及び坂本企画戦略部長から、文部科学省に申請予定の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」について、審議資料2に基づき説明があり、本事業の内容や進め方について意見交換が行われ、学長から各委員からの意見を参考に今後の取組を進めていきたい旨説明があった。

（委員からの主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員）

○本事業の目的は県内大学等の卒業生の地元就職率を10%向上するということであるが、山口大学がこの事業を中心となって進めるメリットは何か。

◇本事業は、山口県に貢献しなければならないという使命感により進めている。本事業の採択により、自治体にも国からの財政措置等のメリットがある。

○大きな企業は基本的に全員東京で採用し、地方に派遣させる方式を採っている。本事業による恩恵を受けるのは、県内の中小・中堅企業であると思われる。

○新しい事業所を地方に作ろうとした例では、税金などの経済的条件を比較分析し、もっとも有利な自治体を選定した。優秀な人材を迅速に集めることが出来るかどうかという点も、重要な要素であると思う。現在伸びている分野がどのような人材を求めているかというニーズを教育に反映できれば非常に有利であると思う。

◇これまで大学と自治体との対話が不足していた部分もあり、対話を重ね、両者が一体となって様々な取組を進めていきたいと考えている。

○大学の教員が学生と一緒に起業できるような取組を進めてはどうか。

◇大学研究推進機構に新しいセンターを設置し、イノベーションに繋がるような研究を育成する取組を進めている。

○本事業では、地元志向を持った学生をいかに育成するかがポイントであるように思う。教育委員会が運営する「山口教育応援団」や「地域協育ネット」等、大学にも活用できる情報をweb上に公開しているので、活用していただきたい。

3 平成26事業年度に係る業務実績報告について

古賀理事から、6月末までに文部科学省へ提出する平成26事業年度に係る業務実績報告書について、審議資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり文部科学省に提出することが承認された。

なお、提出までに訂正・変更が生じた場合は学長に一任することが併せて了承された。

4 就業規則等の改正について

三池理事から、教員年俸制を適用するテニユアURA（無任期雇用）制度の趣旨・必要性について、審議資料4-1に基づき説明があった。続いて田中理事から、テニユアURA制度整備のために必

要となる就業規則等の改正について、審議資料4-2に基づき説明があり、審議の結果、就業規則等の改正について原案のとおり承認された。

5 平成26年度決算について

吉岡理事から、平成26年度決算の概要及び平成26年度山口大学財務諸表等について、審議資料5-1から審議資料5-5に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

6 平成28年度概算要求について

吉岡理事から、第3期中期目標期間における運営費交付金の在り方について、審議資料6に基づき説明があり、併せて文部科学省が示した方針に基づいて本学の平成28年度概算要求を策定中であること、施設整備費概算要求については資料のとおり基本方針を策定したいことについて説明があった。

これを受けて、審議の結果、平成28年度概算要求について策定の上文部科学省に提出すること、施設整備費概算要求に係る各要求事項の優先順位付けについては役員会において審議することが了承された。

7 機関別認証評価及び選択評価について

内藤副学長から、6月末までに大学評価・学位授与機構に提出する機関別認証評価等に係る自己評価書について、審議資料7に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり提出することが承認された。

なお、提出までに訂正・変更が生じた場合は学長に一任することが併せて了承された。

III 報告事項

1 山口大学の主な動きについて

総務部長から、平成27年4月以降の本学の主な動きについて、報告資料1に基づき報告があった。

2 山口大学創基200周年記念事業について

田中理事から、5月30日に開催された創基200周年記念式典への出席に対する謝辞が述べられた後、山口大学創基200周年記念募金状況について、報告資料2に基づき報告があった。

3 附属病院の経営について

吉岡理事及び岩村医学部事務部長から、医学部附属病院の平成26年度の経営実績及び平成27年度経営計画について、報告資料3に基づき説明があった。

4 平成27年度入試実施状況について

額田理事から、平成27年度入試による入学者状況について、報告資料4に基づき報告があった。

5 大学評価に係る平成26年度事業実施報告について

内藤副学長から、平成26年度に実施した山口大学活動白書（平成26年度版）の作成や技術経営研究科の専門職大学院認証評価について、報告資料5に基づき説明があった。

6 監事監査の報告について

坂本監事から、平成26年度監事監査報告書について、報告資料6に基づき報告があった。

【配付資料】

I 第65回経営協議会議事要旨（案）

<審議資料>

- 1 中期目標・中期計画（素案）
- 1（参考資料） 国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて（通知）
- 2 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COCプラス）
- 3 平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書
- 4-1 「リサーチ・アドミニストレータを育成・確保するシステムの整備」の継続実施に係る継続審査結果について（通知）
- 4-2 就業規則等の改正について
- 5-1 平成26年度決算の概要
- 5-2 平成26事業年度財務諸表
- 5-3 平成26年度決算報告書
- 5-4 平成26事業年度事業報告書
- 5-5 平成26事業年度山口大学決算概要（速報版）
- 6 第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について（審議まとめ）（平成27年6月15日）のポイント
- 7 機関別認証評価及び選択評価について

<報告資料>

- 1 山口大学の主な動き（平成27年4月以降）
- 2 山口大学創基200周年記念募金状況
- 3 附属病院の各種経営指標及び平成27年度附属病院の経営計画について
- 4 平成27年度入試実施状況について
- 5 大学評価に係る平成26年度事業実施報告について
- 6 平成26年度監査報告書